

令和7年8月7日

岩手県知事
達増 拓也 様

一級河川迫川水系に係る総合的な 治水対策事業に関する要望書



2022年7月17日撮影 磯田川(一関市花泉町)

迫川水系総合治水対策促進期成同盟会

【要望の要旨】

一関市・登米市・栗原市圏域の一級河川迫川水系の治水安全度向上のため、総合的な治水対策事業の整備促進について特段の御高配を賜りますよう要望いたします。

【要望の理由】

迫川水系の治水対策事業につきましては、岩手・宮城両県の御尽力により、築堤や護岸設置等の堤防機能強化に加え、支障木伐採及び堆積土砂撤去などの実施により着実に防災減災対策がなされていることに対しまして、衷心より感謝申し上げます。

さて、治水事業は基盤整備の中でも生命と財産を守るものであり、安全で安心な地域づくりに欠かすことの出来ない事業であります。

迫川水系の治水事業については、昭和7年の着手以来、カスリン・アイオン台風による大水害を契機として、大きく前進してきていたところではありますが、近年は毎年のように記録的豪雨が発生し、全国の至るところで大規模な水害に見舞われており、気候変動による更なる降水量の増大も予想されております。

これまでも、段階的に迫川水系の治水対策を講じていただいておりますが、平成27年9月の関東・東北豪雨災害をはじめ、令和元年東日本台風、令和4年7月豪雨などで、越水や堤防決壊により住家、農地及びインフラ施設等が被災し、住民生活のみならず企業活動にも甚大な被害を与えております。

このような地球温暖化に伴う自然災害の激甚化・頻発化、台風の大型化に伴う被害を未然に防ぐために流域住民からの事前防災対策の促進を求める声が大きくなってきております。

今後、県境を越え生活圏を共にする流域住民の悲願であります迫川水系の治水事業が両県連携のもと計画的かつ早期に実施されるよう、また気候変動による水災害リスクに備えた流域治水の取組を促進し河川管理施設の機能が十分に発揮され河川が良好な状態を維持されるよう、次のとおり要望いたします。

記

一 関 市

- ・ 夏川河川改修事業の促進 L=2,310m
- ・ 磯田川河川改修事業の促進 L=2,065m
- ・ 上油田川河川改修事業の促進 L=1,350m

登 米 市

- ・ 長沼川河川改修事業の促進
(放水路区間 L=1,540m及びその上流区間)
- ・ 夏川河川改修事業の促進 L=2,310m
- ・ 荒川、落堀川河川改修事業の促進

栗 原 市

- ・ 迫川河川改修事業の促進
(三迫川合流点から長崎川合流点までの14.4km)
- ・ 二迫川河川改修事業の促進
(迫川合流点から鶯沢北郷までの14.2km)
- ・ 三迫川河川改修事業の促進
(迫川合流地点から栗駒鳥子沢までの8.7km)
- ・ 照越川河川改修事業の促進
(栗原市築館字照越付近)

共 通

- ・ 迫川水系全域にわたる計画的な支障木伐採
及び堆積土砂撤去の実施

令和7年8月7日

迫川水系総合治水対策促進期成同盟会

会 長 一関市長 佐 藤 善 仁